

CE

R-ネット LCD(CJSM2)

ユーザーズマニュアル | 日本語

はじめに

この取扱説明書はR-ネット LCD(CJSM2)電動車いすの取扱説明書の一部を構成し、操作パネルの機能を解説しています。

電動車いすとその付属品に同梱されている全マニュアルのすべての指示と警告を読み、それに従ってください。誤った使用により使用者が怪我をしたり、車いすを損傷したりする可能性があります。これらの危険を緩和するために、ドキュメンテーションをすべて注意深くお読みください。特に安全についての指示および関連する警告表示に注意してください。

使用を始める前に、車椅子と付属品の各種ボタン、機能およびステアリング制御や、座席調節の可能性等の確認に十分な時間をとっていただくことは、極めて重要です。

すべての情報、写真、イラスト、仕様は、その時点で入手できる製品情報を基にしています。図とイラストは代表的な例であり、具体的な部品の正確な描写としては意図されていません。

当社には事前通知無しに製品に変更を行なう権限があります。

Permobilが作成および発行

バージョン: 4

日付: 2024-03-11

発注番号: 336941 jpn-JP

ペルモビールグループ本社

Permobil AB

Per Uddéns väg 20

861 36 Timrå

Sweden

+46 60 59 59 00

info@permobil.com

www.permobil.com



1	安全性	4		
1.1	警告表示のタイプ	4	2.7.2	距離
1.2	警告表示	4	2.7.3	バックライト
2	R-net LCD 操作パネル	6	2.7.4	Bluetooth
2.1	充電ソケット	8	2.7.5	赤外線セットアップ
2.2	ジャックソケット	8	2.7.6	プログラミング
2.3	ボタンおよびパドルスイッチ	9	2.7.7	終了
2.3.1	電源、モードおよびプロフィールパドル	9	2.8	Bluetoothモード
2.3.2	最大速度パドル	10	2.8.1	一般
2.3.3	ホーンボタン	10	2.8.2	デバイスとのペアリング
2.3.4	モードボタン	10	2.8.3	Bluetoothデバイスの操作
2.3.5	プロフィールボタン	10	2.8.4	配達後に変更された設定に関する注意
2.3.6	機能ボタン	11	2.9	赤外線モード
2.4	制御システムのロックとロック解除	15	2.9.1	一般
2.4.1	ロック	15	2.9.2	赤外線セットアップ
2.4.2	ロック解除	15	2.9.3	赤外線コードを学習する
2.5	シート機能	16	2.9.4	シーケンスされた赤外線コードを学ぶ
2.5.1	運転モードに戻ります	16	2.9.5	赤外線コードの有効化と無効化
2.5.2	座席の操作	17	2.9.6	赤外線コードの削除
2.5.3	メモリー	18		
2.6	ディスプレイ	20		
2.6.1	画面シンボル	20		
2.6.2	バッテリーインジケーター	21		
2.6.3	最大速度インジケーター	21		
2.6.4	現在のプロフィール	21		
2.6.5	インフォーカス	22		
2.6.6	制限速度	22		
2.6.7	再起動	22		
2.6.8	制御システムの温度	22		
2.6.9	モーターの温度	23		
2.6.10	砂時計	23		
2.6.11	緊急停止	23		
2.7	設定メニュー	24		
2.7.1	時刻	25		

1 安全性

1.1 警告表示のタイプ

この説明書では次のタイプの警告表示が使用されています:



警告!

回避できなかった場合に、重傷または死亡ならびに製品やその他の所有物への損害の原因となる可能性がある危険な状況を示しています。



注意事項!

防げなかった場合に、製品やその他の所有物への損害の原因となる可能性がある、危険な状況を示しています。



重要!

重要な情報を示します。

1.2 警告表示



警告! 無線送信が許可されない機内モードを有効にする

ConnectMeデバイスには、無線送信機が含まれています。特定の地域では無線通信が許可されておらず、ConnectMeを機内モードに設定する必要があります。かかる種類の地域例には以下のものが含まれますが、これらに限定されません。

- 燃料補給区域、ボートのデッキ下、燃料または化学物質の輸送または貯蔵施設、穀物、ほこり、金属粉などの化学物質または粒子が空気に含まれる区域など、爆発の恐れがある区域。
- 敏感な医療機器との干渉を防ぐべき、病院、診療所、医療施設などの無線封止が要求される場所。
- 空港または航空会社のスタッフによって指示された空港または飛行機内。
- 発破区域、または発破作業の邪魔にならないように「双方向無線」または「電子機器」をオフにするよう要求する通知が掲示された区域。

無線通信が許可される場所や禁止される場所についての注意は、あなた自身の責任となります。



警告！ 破損したジョイスティックのカバーは必ず交換します。

雨、雪、泥、水しぶきなど、どのような種類の水分にも車いすをさらさないようにしてください。

カバーやジョイスティックブーツにひび割れや裂け目がある場合は、ただちに交換する必要があります。これを怠ると湿気が電子装置に入る可能性があり、怪我や火災を含む所有物の損害の原因になります。



重要！ ジョイスティックを放すとシートの動きが止まります

ジョイスティックを放すと、座席の動きが止まります。



重要！ 提供されたバッテリー充電器のみを使用してください

車いすと一緒に提供されたバッテリー充電器以外の何らかのデバイス、またはロックキーが操作パネルの充電器ソケットで接続された場合、車いすの保証は無効になります。



重要！ システムデータは転送できません

ConnectMeが有効化されている場合、システムデータを記録することができ、GPS位置情報を含む特定の場合に一部データを送信することができます。この情報は、たとえば車いすシステムの診断や車いすの安全性を継続的に向上させるのに役立ちます。Permobilは、以下の条件で情報にアクセスして他者と共有することがあります。

- 車いすの所有者または個人の代理人の同意を得た状態で、
 - 安全性研究または車いす診断の目的のため、
 - 法執行機関またはその他の政府機関による公式の要求に応じるため、
 - Permobil、その関連会社、または販売/サービス組織が関係する紛争解決に使用するため、そして
 - 法律により別段の定めがある、または許可されている場合
- Permobilによるあなたの個人データの使用に関する追加情報は、<https://privacy.permobil.com/>でプライバシー保護通知を参照してください

2 R-net LCD 操作パネル



- A. ハザードライトとシートリフト
- B. ライトとバックレスト角度
- C. 画面
- D. 左方向指示灯とレッグレスト角度
- E. 右方向指示灯とシートチルト
- F. モードボタン
- G. プロフィールボタン
- H. 主電源オンまたはオフ、モードまたはプロフィール・セレクター
- I. 最大速度パドル、減少または増加
- J. ジョイスティック
- K. ホーンボタン

前のページの概要図には操作パネルの基本機能が表示されています。ボタン、切り替えスイッチ、およびジョイスティックには追加機能がある可能性があります。

充電ソケットはパネルの前部にあります。

パネルの根元にジャックソケットが2つあります。一つは外部のOn/Offスイッチ用であり、もう一つは外部のプロフィールスイッチ用として想定しています。

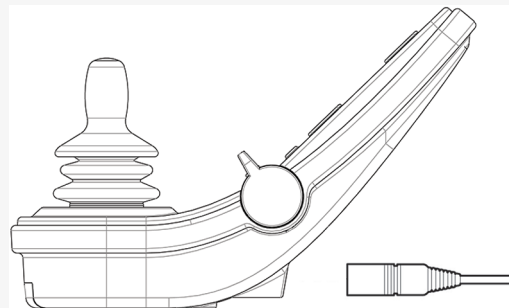
また、車いすには操作パネルの他に座席操作パネルが装備されている場合があります。

2.1 充電ソケット

このソケットは車いすを充電したり、ロックしたりする場合のみに使用するものです。このソケットにはいかなる種類のプログラミングケーブルも接続しないでください。このソケットは、他の電動デバイスの電源として使用しないでください。他の電気機器を接続すると、制御システムが損傷したり、車いすのEMC（電磁両立性）性能に影響を与えたりする可能性があります。



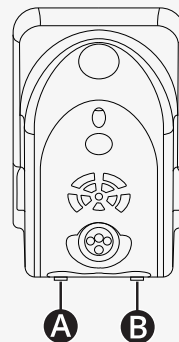
重要! 提供されたバッテリー充電器のみを使用してください



2.2 ジャックソケット

外部のオン/オフ切り替えジャック[Ⓐ]はユーザーがバディボタンのような外部デバイスを使用して制御システムをオンまたはオフに切り替えられるようにします。

外部のプロファイル切り替えジャック[Ⓑ]はユーザーがバディボタンのような外部デバイスを使用してプロフィールを選択できるようにします。運転中にプロフィールを変更するには、このボタンを押すだけです。



2.3 ボタンおよびパドルスイッチ

操作パネルには、合計7個のボタンおよび2個のパドル・スイッチがあります。

2.3.1 電源、モードおよびプロフィールパドル

パドルスイッチは、制御システムのオン/オフの切り替えに使用します。

電源をオンにするには、パドルスイッチを前方に押します。

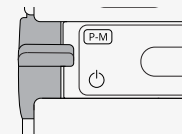
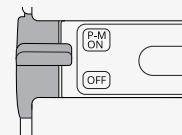
電源をオフにするには、パドルスイッチを後方に引きます。

パドルスイッチは使用可能なプロフィールとモードの間をスクロールするために使用することもできます。使用可能なプロフィールとモードの間をスクロールするにはパドルを前に押ししてください。

お使いのパネルに切り替えスイッチの初期バージョンが図のように装備されている場合、下記の説明に従ってください。

パドルスイッチを後方に引いて電源をオンまたはオフにします。

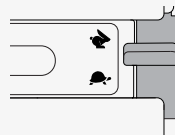
パドルスイッチは使用可能なプロフィールとモードの間をスクロールするために使用することもできます。使用可能なプロフィールとモードの間をスクロールするにはパドルを前に押ししてください。



2.3.2 最大速度パドル

このパドルは車いすの最大速度を減少または増加します。ディスプレイ上の最大速度インジケータは現在の設定を表示しています。設定を上げるにはパドルを前に押し、設定を下げるにはパドルを前に押ししてください。

車いすにPower Platformが装備されている場合、新しいアイコンが操作パネルに表示されます。第2.6 ディスプレイ、ページ 20章を参照してください。



2.3.3 ホーンボタン

このボタンが押されている間、ホーンが鳴ります。



2.3.4 モードボタン

モードボタンを押すと、ユーザーは制御システムで使用可能な動作モードをナビゲートできます。使用可能なモードの数は異なります。



2.3.5 プロフィールボタン

プロフィールボタンを押すと、ユーザーはコントロールシステムで使用可能なプロフィールをナビゲートできます。使用可能なプロフィールの数は異なります。



2.3.6 機能ボタン

ディスプレイの左側と右側に4つの機能ボタンがあります。画面上のシンボルは現在の機能を示します。

2.3.6.1 ハザードライトとシートリフト

このボタンは、車いすにライトが装備されている場合は車いすハザードライトを制御し、機能が操作パネルにプログラムされている場合はシートリフトを制御します。

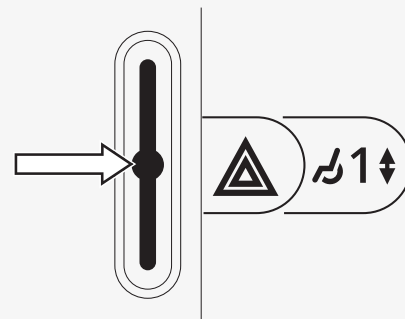
ハザードライトは車いすが他人に対して障害物になる位置にある場合に使用されます。ハザードライトが点灯している場合、画面上のシンボルが車いすのハザードライトと同期するように点滅します。

次の方法でハザードライトを点灯または消灯できます。

1. ボタンを押すとハザードライトが点灯します。
2. ボタンを再度押すと、ハザードライトが消灯します。

シートリフトは、次の方法で制御できます。

1. ボタンを長押しすると、シートを上げて適切なポジションに調節できません。
2. もう一度ボタンを長押しすると、シートを下げて適切なポジションに調節できます。



2.3.6.2 ライトとバックレスト角度

このボタンは、車いすにライトが装備されている場合はフロントライトとリヤライトを制御します。また、この機能が操作パネルにプログラムされている場合は、バックレスト角度を制御します。

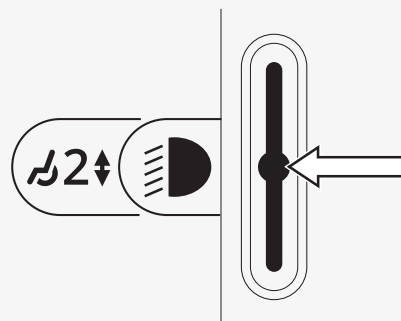
ライトが点灯している場合、画面上のシンボルが点灯します。

ライトは、次の方法でオンまたはオフにできます。

1. ボタンを押すと、フロントライトとリヤライトがオンになります。
2. もう一度ボタンを押すと、フロントライトとリヤライトがオフになります。

バックレスト角度は、次の方法で制御できます。

1. ボタンを押し続けると、バックレストを前方へ傾けて適切なポジションに調節できます。
2. もう一度ボタンを長押しすると、バックレストを後方へ傾けて適切なポジションに調節できます。



2.3.6.3 左方向指示灯とレッグレスト角度

このボタンは、車いすにライトが装備されている場合は左方向指示灯を制御します。また、この機能が操作パネルにプログラムされている場合は、レッグレスト角度を調節します。

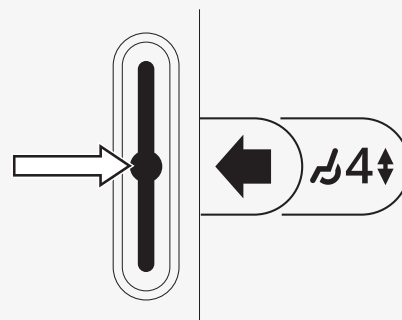
左方向指示灯が点灯している場合、画面上のシンボルが車いすの左方向指示灯と同期するように点滅します。

左方向指示灯は、次の方法でオンまたはオフにできます。

1. ボタンを押すと、左方向指示灯がオンになります。
2. ボタンを再度押すと、左方向指示灯がオフになります。

レッグレスト角度は、次の方法で制御できます。

1. ボタンを長押しすると、レッグレストを前方へ傾けて適切なポジションに調節できます。
2. もう一度ボタンを長押しすると、レッグレストを後方へ傾けて適切なポジションに調節できます。



2.3.6.4 右方向指示灯とシートチルト

このボタンは、車いすにライトが装備されている場合は右方向指示灯を制御します。また、この機能が操作パネルにプログラムされている場合は、シートチルトを制御します。

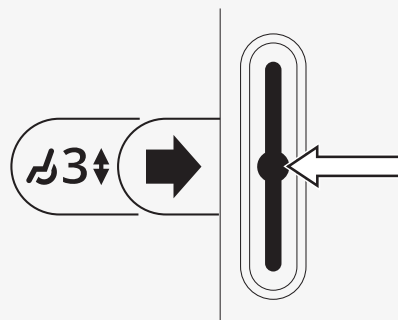
右方向指示灯が点灯している場合、画面上のシンボルが車いすの右方向指示灯と同期するように点滅します。

右方向指示灯は、次の方法でオンまたはオフにできます。

1. ボタンを押すと、右方向指示灯がオンになります。
2. ボタンを再度押すと、右方向指示灯がオフになります。

シートチルトは、次の方法で制御できます。

1. ボタンを長押しすると、シートを前方へ傾けて適切なポジションに調節できます。
2. もう一度ボタンを長押しすると、シートを後方へ傾けて適切なポジションに調節できます。



2.4 制御システムのロックとロック解除

2.4.1 ロック

- ・ 制御システムをオンにして、パドルを後方へ移動させます。
- ・ 1秒後に制御システムがピープ音を鳴らします。今度はパドルをはなしてください。
- ・ 制御システムが音を鳴らすまでジョイスティックを前方に傾けてください。
- ・ 制御システムが音を鳴らすまでジョイスティックを後方に傾けてください。
- ・ ジョイスティックをはなしてください。長い音が鳴ります。
- ・ これで車いすがロックされました。
- ・ 車いすがオフになりました。

2.4.2 ロック解除

- ・ 制御システムがオフになっている場合は、パドルを前方に動かしてください。
- ・ 制御システムが音を鳴らすまでジョイスティックを前方に傾けてください。
- ・ 制御システムが音を鳴らすまでジョイスティックを後方に傾けてください。
- ・ ジョイスティックをはなしてください。長い音が鳴ります。
- ・ これで車いすがロック解除されました。



2.5 シート機能

シート機能には、一部のシートモデルで利用できないものがあります。

座席によっては、操作パネルのジョイスティックを使って座席機能をコントロールできます。一部のモデルは3つの座席位置を記録することができます。座席の調整装置は記録されたそれぞれの位置を保管しています。これで事前に保存した座席位置を再現することが簡単になります。

2.5.1 運転モードに戻ります

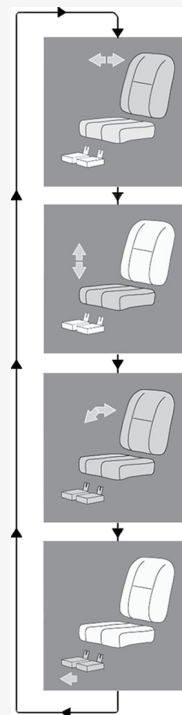
速度計付きの標準ディスプレイの画像が操作パネルのディスプレイに表示されるまでモードボタンを1回以上押してください。



2.5.2 座席の操作

1. 座席機能アイコンが操作パネルのディスプレイに表示されるまでモードボタンを1回以上押してください。
2. ジョイスティックを左右に動かして座席機能を選択します。選択された座席機能のアイコンがディスプレイ上に表示されます。
表示されるアイコンは、シートモデルと利用可能な機能によって異なります。
3. 機能をアクティブ化するにはジョイスティックを前後に動かします。

Mシンボルが座席のアイコンと一緒に表示された場合、メモリー機能が有効になっています。ジョイスティックを左右に動かして代替りとなる座席機能を選択します。



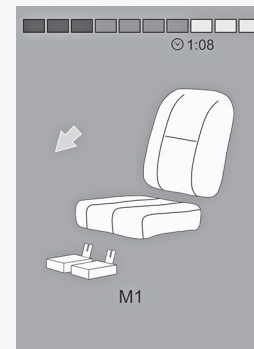
2.5.3 メモリー

2.5.3.1 メモリーに座席位置を保存する

一部の座席制御システムは3つの座席位置を記録することができます。座席の調整装置は記録されたそれぞれの位置を保管しています。これで事前に保存した座席位置を再現することが簡単になります。

シート位置をメモリーに保存するには、次の手順に従います。

1. 座席機能を適切なポジションに調整します。
2. 座席機能アイコンが操作パネルのディスプレイに表示されるまでモードボタンを1回以上押して、座席メモリー機能をオンにしてください。
3. ジョイスティックを左右に動かして記録された位置(M1、M2またはM3)を選択してください。座席アイコンと選択された記録済位置用のメモリーシンボルMが操作パネルのディスプレイ上に表示されます。
4. 保存機能を有効化するにはジョイスティックを後方に動かしてください。メモリーシンボルMの横に矢印が表示されます。
5. 現在の位置を保存するには、ジョイスティックを前方に動かし、メモリーシンボルMの横にある矢印が消えるまでその位置に保持します。



2.5.3.2 シート位置をメモリーから取り出す

メモリーからシート位置を呼び出すには、次の手順に従います。

1. 座席機能アイコンが操作パネルのディスプレイに表示されるまでモードボタンを1回以上押してください。
2. ジョイスティックを左右に動かして記録された位置(M1、M2 または M3)を選択してください。座席アイコンと選択された記録済位置用のメモリーシンボルMが操作パネルのディスプレイ上に表示されます。
3. ジョイスティックを前方向に押します。座席は以前に保存された位置に調整されます。安全上の理由から、座席が記録済位置に完全に調整されるまで、ジョイスティックを前方に保持する必要があります。座席が記憶済位置に調節されると、移動は停止します。



重要! ジョイスティックを放すとシートの動きが止まります



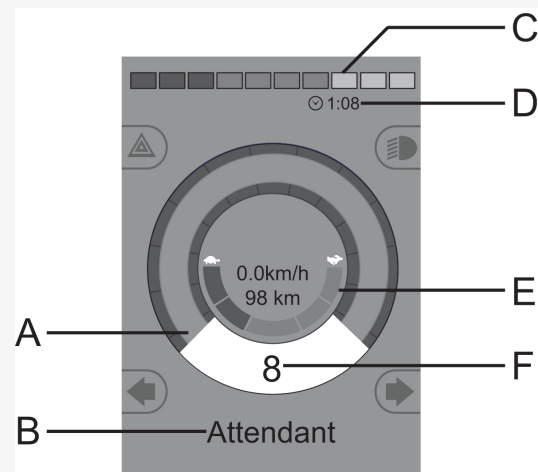
2.6 ディスプレイ

制御システムのステータスがディスプレイに表示されます。ディスプレイのバックライトが点いている場合、制御システムはONになっています。

2.6.1 画面シンボル

R-net運転画面には常に表示される共通部分と特定の条件下のみで表示される部分があります。

- A. 速度計
- B. プロフィール名
- C. バッテリーインジケーター
- D. 時計
- E. 最大速度インジケーター
- F. 現在のプロフィール



2.6.2 バッテリーインジケータ

ディスプレイにバッテリーの状態が表示されます（左から右）。

赤、黄、緑	充電完了
赤、黄	半充電
赤	バッテリーの充電

これは使用可能なバッテリー充電を表示し、ユーザーにバッテリーの状態について警告するために使用できます。

- ・ 安定した光：すべて順調です。
- ・ ゆっくり点滅：操作システムは正しく機能していますが、出来る限り早くバッテリーを充電してください。
- ・ 強く光る：車いすのバッテリーが充電中です。充電器を外し、制御システムを再度OFFからONにするまでは車いすを運転できません。

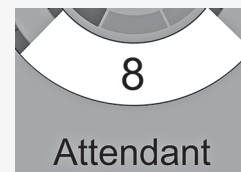
2.6.3 最大速度インジケータ

これは現在の最大速度設定を表示します。

最大速度設定はスピードパドルを使って調整します。

2.6.4 現在のプロフィール

プロフィール番号は現在どの操作システムで操作しているか示します。プロフィールテキストは現在操縦している操作システムの名前または説明です。



2.6.5 インフォーカス

二次ジョイスティックモジュールやデュアルアテンダントモジュールなど、制御システムに複数の直接制御方法が含まれている場合は、車いすをコントロールするモジュールに、この記号が表示されます。



2.6.6 制限速度

車いすの速度が制限された場合（例えばシートを高くした場合など）このシンボルが表示されます。車いすの運転が禁止されている場合、このシンボルが点滅します。



2.6.7 再起動

制御システムの再起動が必要な場合、モジュールの再設定などではこのシンボルが点滅します。



2.6.8 制御システムの温度

このシンボルが表示されると、安全機能が作動したことを意味します。この安全機能はモーターへの電力供給を減らし、制御システムがクールダウンすると自動的にリセットします。このシンボルが表示された場合は、ゆっくり運転するか車いすを止めてください。制御システムの温度が上昇し続けると、制御システムのクールダウンが必要な水準に達する可能性があります。その水準では運転することはできなくなります。



2.6.9 モーターの温度

このシンボルが表示されると、安全機能が作動したことを意味します。この安全機能はモーターへの電力供給を減少させて、一定の時間後に自動的にリセットします。システムがリセットされると、このシンボルは消えます。このシンボルが表示された場合は、ゆっくり運転するか車いすを止めてください。車いすに余計な力がかかる事を防ぐために、ヘルモビールはシンボルが消えた後に短い期間、ゆっくり運転する事をお勧めします。シンボルが複数回表示され、車いすがで「運転制限」の章で述べられているいかなる条件下でも運転されていない場合、車いすに不具合が生じている可能性があります。担当のサービス技術者までお問い合わせください。



2.6.10 砂時計

このシンボルは制御システムが状態を変えている時に表示されます。例としては、プログラミングモードに切り替わる場合などです。シンボルは砂が流れ落ちるアニメーションを表示します。



2.6.11 緊急停止

制御システムがラッチドライブあるいはアクチュエータ動作に対してプログラムされる場合、通常緊急停止スイッチは外部プロファイル・スイッチジャックに接続されます。緊急停止スイッチが操作された、または接続を外された場合、このシンボルは点滅します。



2.7 設定メニュー

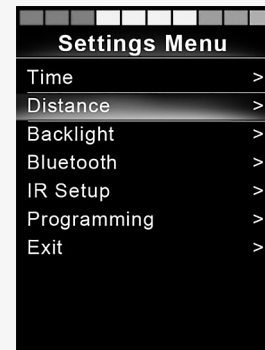
設定メニューでは、時計、画面の明るさ、背景色などを変更できます。

ハザードライト機能ボタンを長押しすると、設定メニューが開きます。操作パネルの機能ボタンがシート機能でプログラムされている場合、まず設定アイコンが画面に表示されるまでモードボタンを1回以上押し、次にハザードライトの機能ボタンを長押しして設定メニューを開きます。

ジョイスティックを動かしてメニューをスクロールします。ジョイスティックを右に倒せば、関連する機能オプションを含むサブメニューが表示されません。

メニュー下部の終了を選択し、ジョイスティックを右に動かして設定メニューを終了します。

メニューの項目は下記のセクションで説明されています。



2.7.1 時刻

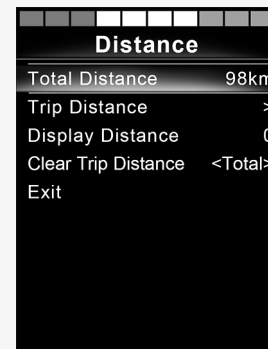
下記のセクションは時刻に関するサブメニューを説明します。

時刻を設定	ユーザーが時刻を設定できます。
時刻を表示	ここでは時刻表示の形式を設定したり、OFFに切り替えたりします。12時間表示、24時間表示またはOffを選べます。

2.7.2 距離

下記のセクションは距離に関するサブメニューを説明します。

合計距離	この値は電源モジュール内に保存されます。現在の電源モジュールがシャーシに取り付けられてから走った合計距離に関係しています。
トリップ距離	この値はジョイスティックモジュール内に保存されます。この値は最後にリセットしてから走った合計距離に関係しています。
距離の表示	合計距離またはトリップ距離のどちらが走行距離計としてジョイスティックモジュールに表示されるか設定します。
トリップ距離をクリアする	ジョイスティックを右に動かすとトリップ距離の値がクリアされます。



Distance	
Total Distance	98km
Trip Distance	>
Display Distance	0
Clear Trip Distance	<Total>
Exit	

2.7.3 バックライト

下記のセクションはバックライトに関するサブメニューを説明します。

バックライト	ここでは画面のバックライトを設定します。0%～100%の間で設定できます。
自動バックライト	ジョイスティックモジュールには、画面の明るさを自動的に調整するための周囲光センサーがあります。プログラム可能なオプションはOffまたはOnです。Onに設定すれば、光センサーが測定した値に基づいて画面の明るさを調整します。Offに設定すると、光の強さが変化しても画面の明るさは変化しません。
バックライト期間	これは、入力デバイスからそれ以上の指示を受けなくなってからバックライトが点いたままの期間を調整します。0～240秒の間で調整することができます。

2.7.4 Bluetooth

内蔵Bluetoothを装備する操作パネル用です。

ジョイスティックを右に動かすと、Bluetoothモード画面を設定するためのサブメニューに入ります。

第2.8 Bluetoothモード, ページ 29章を参照してください。

2.7.5 赤外線セットアップ

内蔵赤外線を装備する操作パネルに適用します。

ジョイスティックを右に動かすと、赤外線コードを学習および削除するためのサブメニューに入ります。

第2.9 赤外線モード, ページ 41章を参照してください。

2.7.6 プログラミング

下記のセクションはプログラミングに関するサブメニューを説明します。

スリープ	入力デバイスコマンドが受信されない場合に、制御システムがスリープ状態になるまでの時間を設定します。
音響機器の音量	ボタンが押されたことを示すために使用されている音響機の音量を設定します。
ホーンの音量	ホーンの音量を設定します。
スタートアップ ビープ音	電源を入れたときにコントローラーから短い音が鳴るかどうかを設定します。操作パネルの最近のバージョンのみで利用可能です。
一時的な画面	プログラムされた一時的な画面が表示されるかどうかを設定します。
速度表示	車いすの速度の表示方法を設定します。mph、km/hまたはOffを選べます。
ディスプレイ	デジタルドライブディスプレイの形式を設定します。走行距離計、速度または両方を選べます。

診断	ユーザーが制御システムから診断情報を確認できるようにします。
タイマー	今まで車いすが何時間間運転されたかユーザーが確認できるようにします。

2.7.7 終了

設定メニューを終了します。

Diagnostics		Diagnostics	
PM 2.5	>	Center Joystick	4
Gyro 2.3	>	Bad Cable	7
ISM 1.94	>	M2 Brake Error	1
JSM 1.0	>	Low Battery	1

2.8 Bluetoothモード

3.5インチまたは2.8インチのカラーディスプレイと統合されたBluetooth搭載のR-net操作パネルにのみ適用されます。

ジョイスティックモジュールは、3.5インチ画面バージョンの画面の下にモードボタンおよびプロフィールボタンが装備されている点で異なります。2.8インチ画面付きのジョイスティックモジュールはよりコンパクトで、これらのボタンがありません。

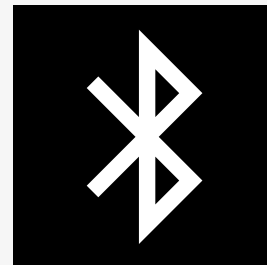
2.8.1 一般

Bluetoothを含む操作パネルが装備された状態で車いすが配達された場合、Bluetooth機能は基本セットアップにプログラムされています。この設定は下記に説明されています。

基本設定では、追加ツールなしで最大4台のBluetoothデバイスをペアリングできます。PCマウスまたはAndroidデバイスが2台とiDeviceが2台。このセットアップはプログラミングキーとコンピューターにインストールされたR-netプログラマーを使用して再プログラムできます。例えば、特定のデバイスを説明するテキストとアイコンを変更したり、マウスコマンドを有効にしたり、ナッジ時間を調整したり、マウスポインタの速度を調整したりできます。

2.8.2 デバイスとのペアリング

車いすとペアリングしたいデバイスでBluetoothをオンにします。



2.8.2.1 設定メニュー

ハザードライト機能ボタンを長押しすると、メイン設定メニューが開きます。*Bluetooth*を選択してBluetooth設定メニューを開きます。

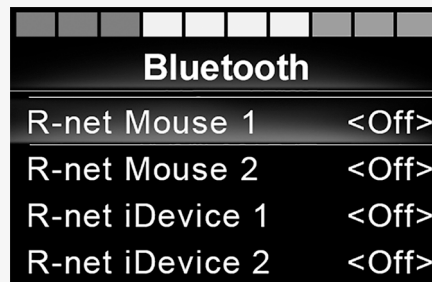
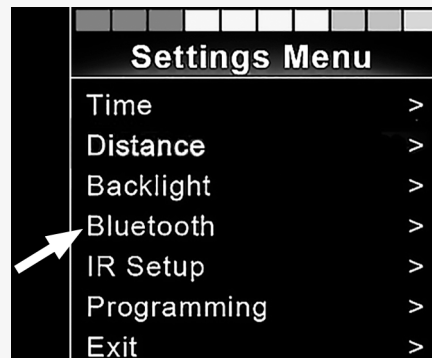
操作パネルの機能ボタンがシート機能でプログラムされている場合、設定アイコンが画面に表示されるまでモードボタンを1回以上押します。次に、設定アイコンの隣にある機能ボタンを長押しして、設定メニューを開きます。*Bluetooth*を選択してBluetooth設定メニューを開きます。

画面にサブメニューが表示されます。

デバイスを選んでください。ジョイスティックを右に動かして、オンに設定します。

R-netシステムの電源をオフにし、再度オンにする必要があります。

R-netプログラミングツールがインストールされたコンピューターを使用して各デバイスの名前を変更することができます。



2.8.2.2 ペアリング設定

このシーケンスの説明に従って、操作パネルのBluetoothに検出モードでアクセスする必要があります。

- ・ ジョイスティックを前方に傾け、音が聞こえるまでそのままにしてください。
これはおおよそ10秒かかります。そしてはなしてください。
- ・ ジョイスティックを反対の方向に傾け、音が聞こえるまでそのままにしてください。これはおおよそ10秒かかります。そしてはなしてください。

画面にはコンピューターの画像の上に点滅するBluetoothアイコンが表示されます。これは操作パネルのBluetoothが検出モードに設定されていることを示しています。これで他のBluetoothデバイスを検出できるようになりました。

2.8.2.3 様々なデバイスとペアリング

ペアリングされる装置のタイプによって、PC、Android™ デバイスまたはiDevice®など、接続する装置で必要な手順に従う必要があります。

一部の手順を以下で説明しています。



2.8.2.4 PCとのペアリング

次の処理はPC上で実行する必要があります。

- ・ PCに追加するBluetoothデバイスを選択できるウィンドウを開きます。名前とパスは、Windowsのバージョンによって少し異なります。
- ・ 要求に応じて、パスワード1234を入力してください。
- ・ R-net Mouse Xが画面に表示されたら、クリックして接続を確定します。R-netマウスがPCのデバイス一覧に表示されるようになります。
- ・ 接続の確立後には操作パネル上のBluetoothアイコンが点滅しなくなります。

2.8.2.5 Androidデバイスとのペアリング

次のプロセスはAndroidデバイスで実行する必要があります

- ・ システム設定を選択して、Bluetoothをオンに設定します。
- ・ 使用可能なデバイスの一覧からR-net Mouse Xを選択します。
- ・ 要求に応じて、パスワード1234を入力してください。
- ・ これでR-net Mouse Xがペアリングされたデバイスとして表示されるはずです。
- ・ 接続の確立後には操作パネル上のBluetoothアイコンが点滅しなくなります。

2.8.2.6 iDeviceとのペアリング

次のプロセスはiDeviceで実行する必要があります。

- ・ 設定を選択して、Bluetoothをオンに設定します。
- ・ 有効なデバイスの一覧からR-net iDevice Xを選択します。
- ・ これでR-net iDevice Xがペアリングされたデバイスとして表示されるはずです。

- ・ 接続の確立後には操作パネル上のBluetoothアイコンが点滅しなくなります。

2.8.2.7 デバイス一覧の更新

操作パネルには、最大4つのデバイスのBluetooth IDが保管されています。

車いすからBluetoothデバイスのペアリングを解除するプロセスは、ペアリングされたデバイスから開始されます。このプロセスはデバイスのタイプによって異なります。

デバイスのペアリングが解除されると、新しいデバイスを追加できます。

2.8.3 Bluetoothデバイスの操作

このセクションではBluetooth内蔵の操作パネルが付属している車いすの基本設定について説明します。

2.8.3.1 Bluetoothデバイスへのアクセス

下記のセクションはペアリングされているBluetoothデバイスのいずれかにアクセスする方法について説明します。

2.8.3.2 Bluetoothモードに入る

2.8インチ画面付きのジョイスティックモジュールはよりコンパクトで、モードボタンとプロフィールボタンがありません。

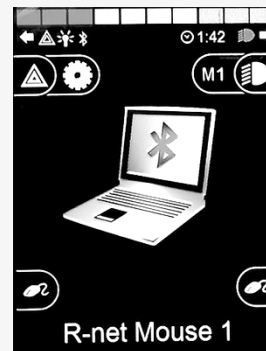
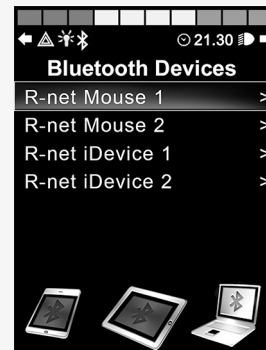
Bluetoothモードに入るまで何度かモードボタン^Aボタンを押すか、機能ボタン^Bを長押ししてBluetoothモードM3に入ってください。

操作パネルの機能ボタンがシート機能でプログラムされている場合、モードボタン^Aのみを使用してBluetoothモードに入ることができます。



複数のペアリングされたBluetoothデバイスがBluetoothを有効にしている場合、画面にはペアリングされたデバイスのリストが表示されます。ペアリングされたデバイスを接続して使用するには、デバイスのIDを選択し、ジョイスティックを右に動かします。

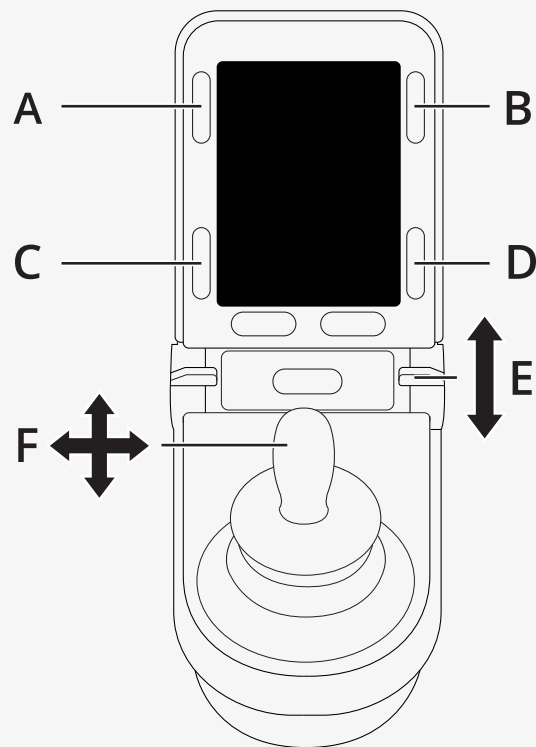
Bluetoothデバイスを選択すると、選択したデバイスを表すアイコンが表示されます。Bluetoothデバイスが1つだけ有効になっている場合、この画面はBluetoothモードが有効になるとすぐに表示されます。



2.8.3.3 Bluetoothモードでボタンを操作する

- A. 設定にアクセス、ページ 37。
- B. 運転モードに戻る、ページ 37。
- C. 左マウスクリック、ページ 38。
- D. 右マウスクリック、ページ 38。
- E. 上下にスクロール、ページ 39。
- F. ジョイスティック機能、ページ 39。

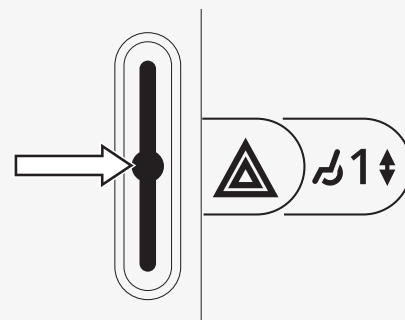
BluetoothデバイスがBluetoothモードで選択されている場合、ボタンA～D、パドルスイッチE、およびジョイスティックFには事前に定義された機能があります。これらの機能は以下で説明します。



2.8.3.4 A – 設定へアクセスする

ボタン (A) を長押しして、設定メニューを開きます。設定メニューの詳細については、2.7 設定メニュー, ページ 24を参照してください。

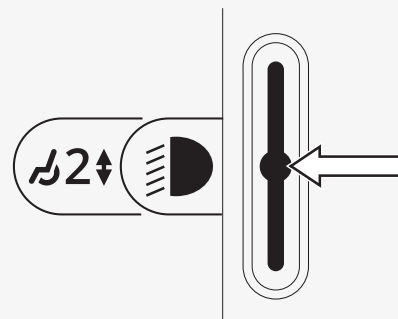
短時間押すと、ハザードライトがオンまたはオフに切り替わります。



2.8.3.5 B – 運転モードに戻る

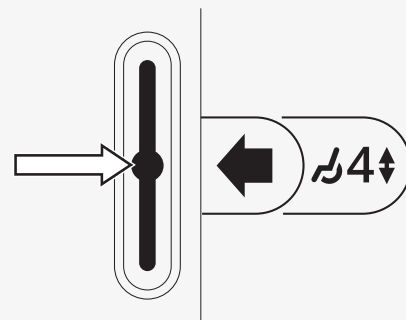
ボタン (B) を長押しして、ドライブモードに入ります。

短時間押すとライトがオンまたはオフに切り替わります。



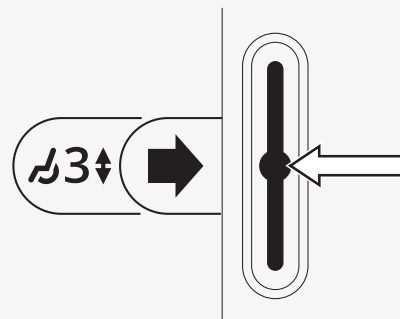
2.8.3.6 C – 左マウスクリック

ボタン (C) を押してマウスの左クリックを実行します。



2.8.3.7 D – 右マウスクリック

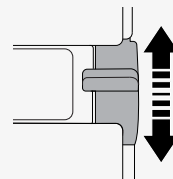
ボタン (D) を押してマウスの右クリックを実行します。



2.8.3.8 E – 上下にスクロール

スクロールアップするにはパドルを押してください。

スクロールダウンするにはパドルを引いてください。



2.8.3.9 F – ジョイスティック機能

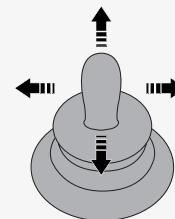
ジョイスティックを動かして、ポインターを目的の方向に動かします。

前方にナッジして上にスクロールします。

後方にナッジして下にスクロールします。

左マウスクリック：左にナッジ。

右マウスクリック：右にナッジ。



ナッジとは素早く傾けることです。お客様のニーズに対応するために、ナッジ設定はプログラミングツールがインストールされたコンピューターで変更できます。

2.8.4 配達後に変更された設定に関する注意

ボタン、トグルスイッチまたはジョイスティック	機能

2.9 赤外線モード

赤外線内蔵の3.5インチまたは2.8インチのカラーディスプレイと統合されたR-net操作パネルにのみ適用されます。



2.9.1 一般

ジョイスティックモジュールと統合された赤外線制御では、テレビ、オーディオ、ケーブル、衛星または環境管理のためのリモコンなど、一般に使用された赤外線装置を複製することができます。

このマニュアルでは、赤外線コードの学習方法について説明します。

車いすは赤外線モードに対応していますが、出荷時にはシステム内に赤外線コードが保存されていません

2.9.2 赤外線セットアップ

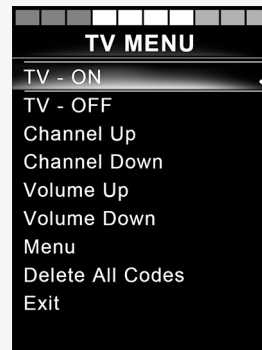
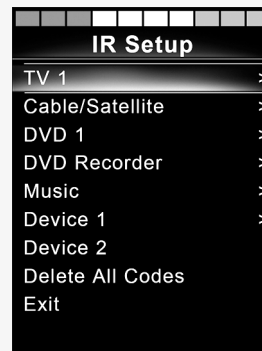
赤外線セットアップメニューは設定メニューからアクセスできます。

2.7 設定メニュー, ページ 24を参照してください。

赤外線セットアップメニューに入ると、デフォルトの器具が表示されます。器具が選択されると、コマンドが表示されます。

コマンドの後にチェックマークが付いている場合は、そのコマンドに保存されている赤外線コードが存在していることを意味します。コマンドにチェックマークがない場合、その赤外線コードはまだ保存されていません。

以下のセクションで説明するように、赤外線コードは保存または削除することができます。



2.9.3 赤外線コードを学習する

IRレ赤外線受信機^Aは、操作パネルの画面上にあります。

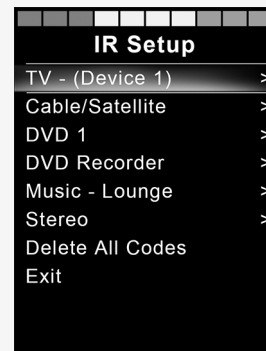
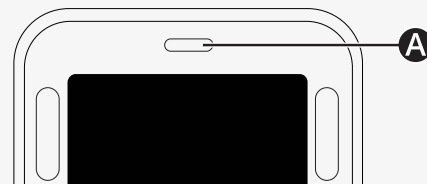
コードを学習するときには、赤外線送信機が操作パネル上の赤外線受信機^Aの方を向くようにリモコンデバイスを持ってください。

2.9.3.1 赤外線IRコード手順を学習する

赤外線セットアップメニューに入ります。

例えば、図のように、TV - (デバイス1)などの器具を選択します。

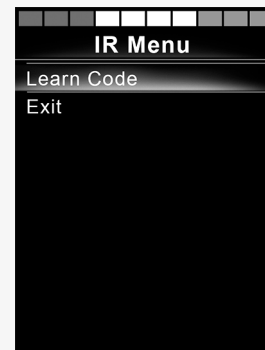
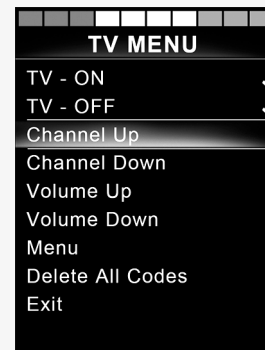
「(デバイス1)」は機器固有の名前が画面のどこに表示されるかを示します。



器具のコマンドが図のように画面に表示されます。学ぶコマンドを選択します。

この例では、チャンネルアップをテレビメニューから選択します。

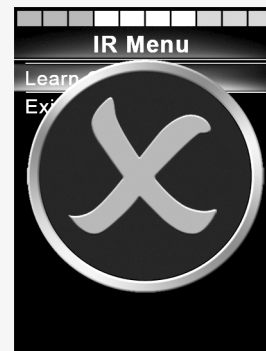
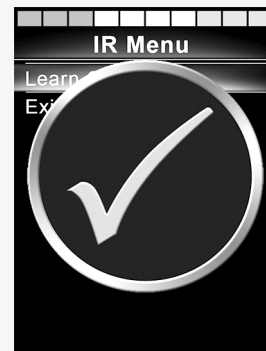
ジョイスティックを右に動かして、強調表示されたコードの学習コマンドを選択します。



テレビのリモコンを操作パネルの赤外線受信機に向け、チャンネルアップボタンを2回押します。

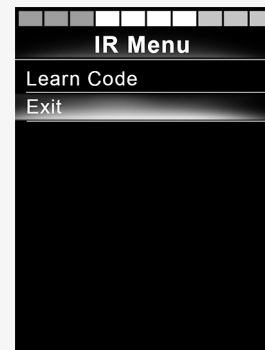
コードの学習操作が正常に完了すると、画面に緑色のチェックマークが表示されます。

コードの学習操作が失敗すると、画面に赤色の十字マークが表示されます。
コードの学習操作をもう一度行ってください。



コードを学習したら下にスクロールして、終了を強調表示します。器具メニュー、赤外線セットアップへ戻るには、ジョイスティックを左に動かします。

赤外線コードが初めて学習されたときは、操作パネルで電源を切って、再びオンにする必要があります。



2.9.4 シーケンスされた赤外線コードを学ぶ

赤外線セットアップメニューで、1つのコマンドに対して複数の赤外線コードを学習できます。これにより、赤外線モードにおいて、1つのコマンドで複数の赤外線コードを送信できるようにします。

例：

1. テレビやDVDなど、複数の機器のオン/オフ機能は、赤外線セットアップメニューの単一エントリで学習できます。その後、操作パネルは学習したコマンドのコードを1回のバーストで送信します。この場合、テレビセットとDVDをほぼ同時にオンまたはオフに切り替えます。
2. 以前は、テレビチャンネルを選択するには、リストから個々のチャンネルの数字を選択する必要がありました。これでは、経てば143などの複数桁のテレビチャンネルを選択しようとするときには非常に不便でした。これで数字1、4および3の個別コードは赤外線セットアップメニュー内の一つのコマンドで学習できます。赤外線セットアップメニュー内でこのコマンドが選択された場合、赤外線コードがほぼ同時に送信されます。

2.9.4.1 シーケンスの作成

- ・ シーケンスイニシエータとして使用するコマンドを選択してください。
この例では、TV - ON。
- ・ コマンドが強調表示されている間にジョイスティックを右に動かして、
コードの学習を選択します。
- ・ テレビのリモコンを操作パネルの赤外線受信機に向け、オン/オフボタン
を2回押します。
- ・ 学習操作が成功するたびに、一時的にチェックマークが画面に表示され
るので、コードの学習をもう一度選択します。
- ・ DVDのリモコンを操作パネルの赤外線受信機に向け、オン/オフボタンを
2回押します。
- ・ 学習操作が成功するたびに、一時的にチェックマークが画面に表示され
るので、コードの学習をもう一度選択します。
- ・ 終了を強調表示してジョイスティックを左に動かし、シーケンスを完了
します。
- ・ これでTV - ONコマンドにチェックマークとその横に3つのドットが付
き、学習したシーケンスが表示されます。

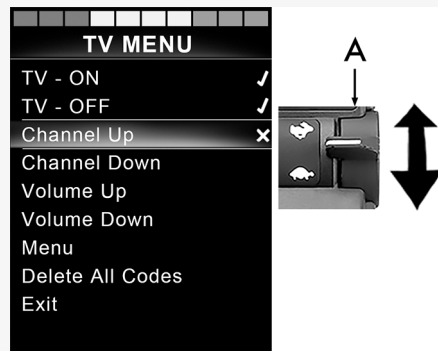


2.9.5 赤外線コードの有効化と無効化

赤外線コードは赤外線セットアップメニューで有効または無効にすることができます。コードが無効になっていると、送信されず赤外線モードでも表示されません。

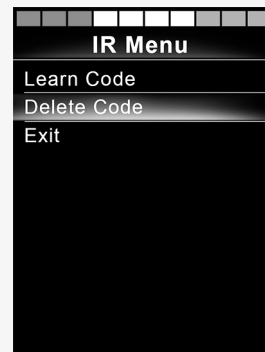
赤外線コードを無効にするには、速度パドルを上下に動かします。強調表示されたコマンドに対して、無効な赤外線コードがXと一緒に表示されます。

赤外線コードを有効にするには、速度パドルを上下に動かします。有効な赤外線コードは強調表示されたコマンドに対してチェックマークと一緒に表示されます。



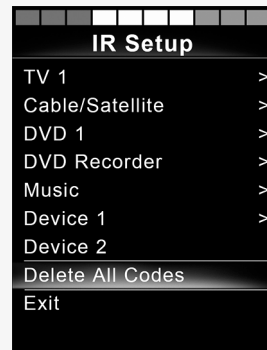
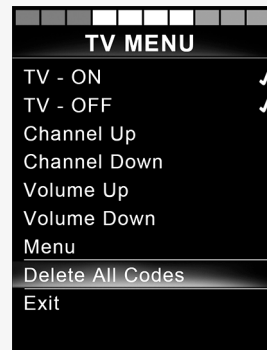
2.9.6 赤外線コードの削除

特定コマンドの赤外線コードを削除するには、機器メニューでそのコマンドを強調表示し、ジョイスティックを右に動かします。次に、コードの削除オプションを選択します。



機器のすべての赤外線コードを削除するには、その機器のサブメニュー内の全コードの削除を選択します。

操作パネルに保管されている全ての赤外線コードを削除するには、赤外線セットアップメニュー内の全コードの削除を選択してください。



permobil

336941 jpn-JP



www.permobil.com